

KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.632

2014.9.10 Sep・Oct

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0002 神戸市中央区北野町1-1
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL <http://www.kobeymca.org> 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙 一 5:16~18)

神戸YMCAファミリーウエルネスセンター Grand Open!!

2014年9月1日にオープンしましたファミリーウエルネスセンターの施設をご紹介します。



▶5Fのトレーニングジムには最新鋭の機器が配置されました。多彩なマシンがならび、一人ひとりの運動目的に合わせて専門のスタッフが効果的なトレーニング方法の指導や補助を行います。



◀4Fにもうけられたスタジオでは、初心者から上級者まで楽しめる多彩なスタジオプログラムが行われます。また、おちついたカラーの統一されたロッカールーム、みなさんのリフレッシュをお約束します。



ファミリーウエルネスセンターへの期待

理事長 中道基夫

待望の神戸YMCAファミリーウエルネスセンターが完成いたしました。

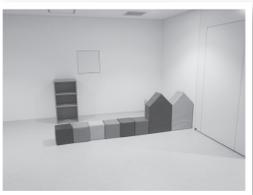
愛する三宮会館には思い出が満ちあふれていますが、神戸YMCAはその建物を維持し、加納町でウエルネス事業を継続するのは神戸YMCAの将来にとってふさわしいことではないと判断し、長い間、新しい展開の場所を探し求めてきました。様々な可能性が示されましたが、ある時には失望に終わり落胆したこともあり、またある時にはわたしたち神戸YMCAの経済力に限界を感じたこともありました。しかし、多くの時間を割き、たくさんの人々の努力と叡智とYMCAへの愛によって、神戸市中央区脇浜町にふさわしい土地が与えられ、この度新しい「神戸YMCAファミリーウエルネスセンター」の完成を目標にすることができました。これは何よりも喜びです。

この喜びには責任が伴っています。ファミリーウエルネスセンター1階の壁には、神戸YMCAのウエルネス事業の歴史が記されています。その歴史に繋がり、そして新しい歴史を切り開いていく場所として、YMCAらしい魅力的な活動やプログラム展開が望まれています。この責任を果たすことを通して、わたしたちはこの建物を「YMCA」にしていかなければなりません。ここに集う人々の、そしてその人々の家族の精神と心と身体が喜び、そのいのちの光がこの会館に満ちあふれ、そこから社会に光を放っていくことを願ってやみません。そこにYMCAの使命があります。

これまでのみなさまのご尽力とご理解、お祈りに感謝すると共に、これからのさらなるYMCAへのご協力をお願いいたします。



◀2F プール
25m×5コースの本格的なプール。コース幅は2mで、ゆったり泳げます。水深は1.0mから1.1mでウォーキングもご利用いただけます。



◀3Fには、プールが一望できるギャラリーや、子ども達が遊べるキッズスペースや授乳室が設けられました。

新たな神戸YMCAファミリーウエルネスセンターがスタートしました。多世代・多文化の人々が、運動を通して喜びを感じ、楽しく交流できる空間です。皆さんのお越しをお待ちしています。

本部事務局、移転しました。

新会館が竣工（2016年秋頃予定）するまでの期間、下記のところへ移転をしています。

〒650-0002 神戸市中央区北野町1-1
新神戸オリエンタルアベニュー2F

TEL 078-241-7201 は今までどおりです。
FAX 078-241-7479

第17回 神戸YMCA インターナショナル・チャリティーラン2014

集まった参加費や協賛金で日本中の障がいのある子どもたちを支援するために今年も以下の通り、行います。ご支援、ご協力お願いします。

日時：2014年11月3日（月・祝）

午前9時～午後3時

場所：しあわせの村 運動広場及びジョギングコース

種目：1/10マラソン（個人タイムレース、4.2195km）・小学生駅伝（4・5・6年・1チーム4名、4.9km）・グループラン（原則1チーム5名以内、2.0km）・1/100マラソン記録会

神戸YMCA国際ホテル学校・神戸YMCA学院専門学校ホテル学科 創立50周年記念式典・祝賀会のご案内

皆様方のご支援ご指導を賜りまして、本校ホテル学科は神戸YMCA国際ホテル学校として発足以来50年目を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

つきましては、下記の通り記念式典を挙行し、併せて祝賀会を催すことになりました。ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、何卒万障お繰り合わせの上ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：2014年10月21日(火曜日)
第1部 記念式典 18:30～19:00(受付18:00～)
第2部 記念祝賀会 19:00～21:00

場所：ANAクラウンプラザホテル神戸 10階 ザ・ボールルーム
(神戸市中央区北野町1丁目 旧新神戸オリエンタルホテル)

会費：35歳以上 10,000円 34歳以下 8,000円

FAX 078-241-3619、
又は senmon@kobeymca.org 宛に
9月30日(火)までにお申込みください。

神戸YMCA学院専門学校
〒650-0002 神戸市中央区北野町1-1
新神戸オリエンタルアベニュー2階
電話078-241-7203



40周年時の写真です

保育園



社会福祉法人

子ども・子育て支援新制度が2015年4月から開始されます。保育園、幼稚園のほかに新たな「認定こども園」が生まれ、子どもたちやご家庭が、安心して子育てができ、そして、より質の高い、保育、教育を受けることを目標とした制度設計が国の会議で行われてきました。「えっ? 保育園はどうなるの?」「変わってしまうの?」と思われる方がいるかもしれませんが、大きな変化というものは、ご家庭の皆さんはありません。保育園は児童福祉法のなかで以前は「保育に欠ける子どもの入所施設」でありましたが、時代の変化とともに「保育を必要とする子どもの……」に変化し、更には「すべての子どもたちのために……」と変わっていくのです。保育園(こども園)に入園するためには、当初は各自治体(市や区)が窓口となって、保育の必要な時間などを認定し、希望する園を記入して申請するしくみとなり、幼稚園(こども園)は今と同様に、幼稚園(こども園)に入園申請を提出し教育認定を市や区でうけることとなります。一見難しい制度に変わりますが、YMCAの保育は戦後、「幼児保育」といわれ、無認可の保育室をスタートとして、認可幼稚園、認可保育園が設置されてきました。その中心にあるのは、聖書の中に示された、キリストイエスの生き方に学び、「子どもが生きていく」ことを主体においた、キリスト教保育にあります。今までも、これからも変わらないのは、未来を創るのは子ども、若者であることを改めて確認し、制度をつかって、子どもの育ちをご家庭と、地域とともに歩んでいきたいという思いです。 YMCA保育園長 小澤 昌甲

小規模保育事業園



YMCAちとせ保育ルーム 「バスに乗って幼稚園に遊びに行っただよ!」

去る7月25日、連携園の神戸YMCAちとせ幼稚園に、YMCAちとせ保育ルームの2歳児6人で遊びに行きました。幼稚園バスが保育ルームに迎えに来てくれて、大喜びで出発! 車窓から見える車や景色に「わ!」「わ!」と心ときめかせ、あっという間に幼稚園に到着!すると、幼稚園の先生たち、プレイクラブ(預かり保育)のお友だち、学童保育のお兄さんお姉さん……みんなが、「ようこそ!」「よく来たね!」「おいで!」「一緒に遊ぼう!」と温かく迎えてくれました。おかげで少し緊張していた子どもたちもすぐに幼稚園の雰囲気や溶け込み、砂場でお料理やお山を作ったり、お水遊びをしたり……。滞在時間は短かったものの、子どもたちは大満足!「楽しかったね」「また行きたいね」「お姉ちゃん、いたね」……とたくさん嬉しきことばが聞かれました。幼稚園は夏休み中だったので幼稚園児は少人数でしたが、思いがけず小学生のお姉さんたちにもお世話をしてもらうことが出来、その分自然な交わりをしながら楽しく遊べたひと時でした。YMCAちとせ保育ルームは幼稚園・保育園の連携により、施設(園庭・プール・保育室)や食(毎日の給食・おやつ)等の支援を頂いたり、行事参加や交流保育を通して様々な年齢層の人たちとの触れ合いが多く持っていますが、これもYMCAというすばらしい環境と、たくさんの仲間のおかげ……。これこそがYMCA最大の魅力だと思います。この恵みに感謝して、これからも保育ルームの子どもたちと共に、豊かな毎日を過ごしていきたいと思ひます。 YMCAちとせ保育ルーム 三木 圭子



I'm a Partner

Diversity (多様性) に満ちた素晴らしいキャンプ -I'm a Partnerサマー 2014のご報告-

3度目となるパートナーキャンプが、7月27日から4泊5日で行われました。夏のキャンプにはパートナーキャンプに加え、コープこうべ、兵庫県ユニセフ協会、神戸YMCAが共催する福島の子ども保養プロジェクトも同日開催され、小学生60名、中学生3名の計63名を招待して行われました。



一人海が怖いと、浜辺で見学している男の子がいました。一人喘息で調子が悪く、同じく見学している男の子がいました。私は「あの子、海が怖いらしい。理由はわからないんだけど。何かできることがあれば手あけて」と言いました。



喘息の彼は、悪化するのを承知で、炎天下の浜辺をもう一人の男の子と遊び始めました。気がつけば足が海に付いていました。彼は私に「水着きてないけど、海に入ってい?」と聞きました。気がつくともう一人の彼も水着になって、二人でひざまで海に入って、遊んでいました。すると今度は、全体水泳を抜け出して、二人の元にグループメンバーとリーダーがやってきました。彼らが恐る恐るトウフマットを差し出すと、怖がっていた彼は、恐る恐るトウフマットに乗りました。

しばらくすると、海ではしゃぐ子どもたちの姿がありました。その中心には、もう海が怖くない、笑っている男の子と、それを支えて誇らしげな男の子がいました。そしてその周りには、ニコニコと笑っている仲間とリーダーがいました。

この感動的な一場面には「自分ができることを。自分ができるときにする。」という、優しく強い心が表れています。

私たちは明るい未来を夢見ています。その未来では、子どもたちが心から笑い、取り巻く大人たちも笑っています。みんなハッピーです。

あるボランティアの女性がこう言いました。「恥ずかしいとか、あつましとか。だから私にはできない。荷が重いとか。そういうことは乗り越えて、その先にあるボランティアの世界を見てください。そこに素晴らしい世界がある。」

私たちはこれからもキャンプを通して、社会に貢献していきたいと思っています。是非、みなさんもパートナーへ。「よし」と思ったそのとき、みなさんは既に私たちのパートナーです。私たちは決してあきらめません。それは達成するよりも、目標に向かって努力することの尊さを知っているからです。

今後も未永いご協力をお願いいたします。

キャンプディレクター 阪田 晃一

～お支えありがとうございました～

サントリーホールディングス(株)・ladies & Gentlemenよしましよ・学校法人啓明学院・生活協同組合コープこうべ・兵庫県ユニセフ協会・NPO法人ルワンダの教育を考える会・(株)光陽社・(株)毛利マーク・(株)Silkmaster・non-standard world, Inc.・ワイズメンズクラブ 西日本区六甲部・(公財)日本YMCA同盟

学童保育



YMCA西神戸学童保育クラブ

YMCA西神戸学童保育クラブは地下鉄学園都市駅にあるYMCA西神戸 brunchの会館で行っている学童保育です。現在は近隣の東町小学校、小寺小学校、太山寺小学校の3校の子どもたち95名が在籍しています。例年、西神戸学童保育では夏休みの初めに余島でキャンプを行っています。今年は7月25日から7月27日の2泊3日の日程でした。普段共に生活しているお友だち、リーダーで行うキャンプでしたが、学童とは少し違う一面を子どもたちは見せてくれました。

ある朝、浜辺できれいな石を探していたグループの子が泣き出しました。「自分だけ見つけれなかった」「私もきれいな石が欲しい」と訴えています。気がつけば朝ごはんの時間が迫っていました。いつもなら、普段の生活なら、ごはんの時間を気にする子もいたと思います。ですが、グループの子は誰もごはんのことを気にせず、泣いている子の話を聞き、「私の石あげる」「後でいっしょに探そう」と必死で声をかけていました。今、目の前にいる人を自分のことのように大切に子どもたちの姿がそこにはありました。



子どもたちは本当にすごい力を持っています。キャンプが終わり、みんなは普段の生活へと戻っていきましたが、今後も学童の生活の中で、様々な行事を通して、子どもたちの力が育まれる学童保育でありたいと思ひます。

西神戸YMCA 本山 哲也

新会館建築募金のお願い

この神戸青年を読まれている皆様一人一人、YMCAに関わっておられるスタンスはそれぞれ異なります。深く関わっておられる方、そうでない方、またずっと以前、子どものころ関わっておられた方、様々です。しかし、きっとこのYMCAを愛されておられる皆様だと思います。神戸YMCAが誕生して128年、今大きな節目を迎えていますが、それは決して、自動的に楽に乗り越えて行けるものではありません。神戸YMCAファミリーの心が一つになっていることが大変大切なことであり、皆様一人一人の働きが、本当に必要とされています。働きにはいろいろありますが、その方法は一人一人異なります。維持会員を継続頂くことも大事な働きですし、友人をお誘い頂くことも大きな働きです。神様は一人一人にかなった働く力を分け与え下さっています。

神戸YMCA募金委員会はYMCAに関わって下さっている全ての皆様に寄附のお願いをしています。しかし本当にお願いしたいことは、神戸YMCAファミリーの皆様一人一人が募金委員になったつもりで、一人でも多くの友人に、知人に、また企業に、皆様がYMCAに持つておられる夢を皆様の言葉で伝えていただきたいのです。そして新しい時代に変ろうとする神戸YMCAファミリーウエルネスセンターと、神戸YMCA三宮会館で、今までにない価値観を見出せる出逢いがあることを伝えていただきたいのです。この寄附活動をとおしてYMCAの歴史を、働きを、務めを、使命を、広めていくチャンスにしたいと願います。募金委員会だけの働きだけでは果たすことのできない大変重要な役目です。神戸YMCAファミリーの心一つにした神戸YMCAの底力を発揮しましょう。

よろしくご協力お願いいたします。募金委員長 清水 泰人

ご寄附いただいた法人・個人の皆様 (7/31現在)

神戸ポートワイズメンズクラブ、(株)神戸ポートピアホテル、塩田都造、草野修、村瀬明久、山本太郎、坂本好也、沼島リーダーOBOG会、宮出真理、村田建設(株)、山口政紀、山口洋子、渡辺敏夫、渡辺順子、神戸キリスト教書店 藤本新作、米谷取、小川光夫、宮田満雄、郷間環、古谷美子、渋谷寧伸、神戸市社会福祉協議会有志、奈良山貴士、山根貞夫、三輪武、角田美鈴、財家幸和、財家保子、松波博治、松波美代子、山本光央、本田英一、武田建、武田寿子、松森正樹、許宏美、森長邦夫、清水泰人、兼田義也、廣田光司、米良重徳、本城智子、戸山好枝、神戸YMCAフォークダンスクラブ代表 小山康之、中川勝巳、山形謙二、藤谷吉春、(株)ディークルー 奥蘭昇司、美崎教正、鍋島美智子、野沢太郎、根岸理恵、志賀美子、(有)クレセントインターナショナル、齊藤靖、野外活動バンビOBOG会 大石恵理子、坂田清子、浜瀬英彦、浜瀬真知子、西本玲子、(有)わかばやし印刷 若林宏昭、中野廣子、西野陽子、大塚雅人、宗行孝之介、三宮リーダー会OBOG会その他有志、小倉サンダイン(株)、岩井義矢、藤村洋、三上展、中西賀子、ラケットボールクラブファン有志 杉本隆人、梅津香代、長谷川奈津江、田中宏明、山本サカエ、神戸YMCAベルクワイアー 阿部望、水野雄二、平川和文、牧田稔、柳あつ子、武内興喜子、DING DONG RINGERS 小川洋子、井上耕作、安田哲也、吉田テイ、久保田基子、長岡利枝、田中千津子、NPO法人姫路YMCA、さんだワイズメンズクラブ、橋本照夫、VISSCHER JAN-KOENRAAD、平田芳江、尾上尚司、(株)神戸新聞社、長畠トヨ子、橋田里佳子、平田文雄、大高操、原寛、尾上美絵、藤原ひさ子、神戸YMCA旧職員の集い、他多数

(順不同、敬称略)

★★ 個人消息 ★★

- <お誕生> おめでとうございます
7月21日 柳原謙介さん(西宮ランチ)「壮介(そうすけ)くん」
- <ご結婚> おめでとうございます
7月15日 松田康之さん(西神戸YMCA保育園)と永井道子さん(カレッジ)

感謝・寄付

西宮ワイズメンズクラブよりLD教育支援金として

ソナタ 奏鳴曲 No.65



総主事 水野雄二

「募金」は「募心」

現在、神戸YMCAは「新会館建築募金」をはじめ、国際活動や災害支援のための「国際協力募金」、経済的に恵まれない子どもたちを支援する「子ども奨学金」、福島の子どもたちや兵庫への避難者をケアし、全国YMCAの復興活動を支えるための「東日本大震災復興支援募金」へのご協力を皆様をお願いしています。多くの皆様から熱い思いを寄せていただいていることに感謝しつつ、更なるご協力をお願いするものです。

YMCAは全国、全世界を通して、様々な募金活動を展開していますが、それは単にお金を提供していただくだけでなく、どういう気持ちを添えて伝えようとしてくださるかを大切にしていきたいと願っています。つまり、募金活動とは「心を通わせる」運動であるということです。「募金」は、「募心」への転換という私たちの試みであり、大切にしたい原則でもあります。

神戸YMCAがまだ独自の会館をもたなかった時代、多くの会員が会館を熱望していた丁度その時、土地を取得したら会館建築費を寄贈するというアメリカYMCAからの申し出があり、勇躍、土地取得のための募金活動を始めました。1907(明治40)年のことでした。V.W.ヘルムという協力主事を得て、活動は精力的に行われ、募金者名簿には九鬼隆義、岩崎久弥、川崎正蔵、武藤山治、高橋是清、渋谷栄一の名前もあります。しかし、それら著名な人々の協力もさることながら、会館を求めた多くの無名氏の募金により神戸YMCAの第1期会館が1913(大正2)年に完成しました。そのために尽力したヘルムは会館完成を見ることもなく、募金開始年の秋、32歳の若さで神戸に客死したことが神戸YMCAの歴史に刻まれています。

それから100年余、神戸YMCAはまた募金に助けられて第5期の会館を建設しようとしています。また、会館建設だけでなく、国際協力や貧困児童ケア、東日本復興のために資金を必要としています。皆様の思いがより多く集められて結合されることを期待し、「募心」としての募金活動を進めていきます。



西神戸YMCA 達 直樹

今まで生きてきた中で作られて来た「当たり前」(「普通」)。「今までであれば「普通じゃない」↓「違う」↓「良くないこと」と言う風に考えてきたと思います。異国に身を置いて、言葉だけでなく、目に飛び込む周囲の景色をはじめ、食べる物や気温。ホテルでの宿泊やCamp Colmanでのキャンプ、物やステイ。何を取ってもこれまで自分が目にした、感じてきたものとの違いをシリアルで感じたことでしょうか。私たちの普通(「当たり前」)を知った上で、全てを受け入れ優先してくださったシリアルのみなさんに、今までにならなかつたものに気づいたことだと思えます。メンバー同士の関わりも、はじめはよそよそしい間柄でしたが、プログラムを通して徐々に繋がり、帰国後の別れ際は、この仲間たちと別れたいと思えるように変化して行きました。そんな違いを自ら体験し、受け止めて、変化して行くメンバーたちと共に過ごせたことがとても嬉しいことです。

これからの、それぞれの場で今回のような自然が変革するような経験をたくさん得て、他者と晴らしさを持つ。人になつて欲しい。このプログラムを実施するにあたって、たくさんの方々にサポートをいただきました。シリアルYMCAの皆様、ホストファミリーの皆様、子どもたちを送り出してくださったご家族の皆様、神戸YMCAの皆様、本当にありがとうございます。

7月30日(8月9日)、今年47年目となる「神戸YMCAシアトルユースエクスチェンジプログラム」に、中高生16名とリーダー2名で参加しました。7月に2回、事前研修で参加するメンバーたちと顔を合わせ、現地の予定確認や英会話レッスンを等々行ないながら準備を進めて行きました。そうして行く中で、このプログラムを体験することでメンバーたちがどう変化していくことを願ってのぞむか、を考えるようになり、出発の日を迎えることが待ち遠しくなりました。

初日、長いフライトを経てシアトルに到着しました。シアトルYMCAの皆さんは、お会いした瞬間から、私たちの気持ちや身体の調子を常に最優先して、包み込む様な優しさで関わってくださいました。そのホスピタリティの素晴らしさは、私を含めメンバーたちが、一番感じたことだと思います。「上手く会話できるか?」と、始めは言葉で会話することを意識し過ぎて自ら話かけることができなかったメンバーたちでしたが、シアトルの方々の想い・気持ちで会話してくださる姿を肌で感じ、拙い英語で上手く言葉・文章になつていないけれど、心の通った会話を真似る様になつていったことが、とても嬉しかったです。



- ウエルネスセンター三宮 ☎078 (241) 7202
- YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
- ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
- 専門学校 ☎078 (241) 7203
- 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
- 三田YMCA ☎079 (559) 0075
- 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
- デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078 (241) 7216
- 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
- ウエルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

- 西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
- 西神南YMCA ☎078 (993) 1560
- 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
- YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
- 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
- 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
- YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
- 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
- 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

三宮会館感謝礼拝

8月2日(土)、42年間親まれた、第4期の三宮会館の感謝礼拝が執り行われた。参加者は約120名。

奨励は日本基督教団神戸教会菅根信彦牧師。「厳しい時代状況の中、しかしそれでもなお、神の言葉に答えていくことが求められている。終わりと同時に新しい約束の地を目指していく旅立ちの時でもある。神の約束、未だに与えられていない約束、同時に既に与えられている確信。その緊張感の中で「にもかかわらず」という決断をもってこれからも心を合わせ約束の地へ歩んでいきたいと思う。」と言うメッセージが語られた。



その他、関連した以下のイベントが行なわれ三宮会館への感謝とともに、新たな希望への期待が込められた。

- 6/8 (日) 三宮会館 沼島リーダー OBOG会
- 6/15 (日) フォークダンスクラブ さよならパーティ
- 6/29 (日) ありがとうございます、神戸YMCA三宮会館ラケットボールコート
- 7/5 (土) 旧職員の集い
- 7/6 (日) 三宮リーダー会お別れ会&同窓会
- 7/26 (土) ありがとうウエルネスセンター三宮 持ち寄り・同窓会パーティ
- 7/26 (土) YBB OBOG会

ファンドレイジングWEBサイト

神戸YMCA
子ども奨学金

手をつなごう。誰かのために。

神戸YMCA
子ども奨学金

Smile for the future
~未来へ続く笑顔が見たいから~

神戸YMCAは、1886年の設立以来、これまで多くの支援者の志によってより良い社会、より平和な世界を創るための活動を推進してまいりました。海外での支援活動や、地域の青少年のための活動など、多くの人々をつなぎ、地道な歩みを続けています。YMCAは想いをともにするお一人おひとりの志で創り上げられています。今なお、国内外を問わず、困難な状況が散見される世にあって、皆さんとともにYMCA運動を強めていきたいと願います。このたび、クレジットカードでもご寄附をいただける「神戸YMCAファンドレイジングWEBサイト」を開設いたしました。国際協力募金や子ども奨学金、東日本大震災復興支援活動などへのご支援をより身近に感じていただけることと思います。一人ひとりの力は小さなものでも、多くの力が集まることで、大きな力へと変わっていきます。皆さまとともに神様の導きにより、よりよい世界を創る働きができればと思います。どうぞ、ますますのご支援をお願いいたします。

神戸YMCAファンドレイジングwebサイト
www.kifu-kobeymca.org

憲法を知るつどい

7月7日(月)に憲法を知る集いVol.3「憲法のこころPart2」が実施されました。今回は、憲法前文に表記されている「平和」の文字に焦点を当て、日本国憲法の平和主義を前文から読み解いていきました。平和に関するワークショップも講義の合間に行われ、良き学びの一時となりました。



午餐会(小豆島の活性化と神戸YMCAへの期待)

第33回午餐会は塩田幸雄さん(小豆島町長)をお迎えしました。素晴らしい自然と文化が存在する小豆島を『希望の島』と表現され、長い歴史とともに歩む余島キャンプ場との関係を通じ、神戸YMCAそして神戸と更なる協力関係を、とお話しされました。



サマーキャンプ in 余島

今年も多くの子どもたちが余島で仲間やリーダーと共に歌い、笑い、泣きました。初めて余島に来たキャンパーも、何十回と来ているキャンパーも余島が変わらず、あたたかく受け入れてくれました。仲間と出逢えたことを喜び、そして皆が無事に帰れるように祈り、全てのことに感謝をした夏のキャンプでした。皆、また余島で会おう!



English KIDSと留学生のふれ合い

三宮英会話の子供達が留学生達と触れ合いました。英語・中国語・ロシア語をすぐに覚えてしまう素直なチャカラ。文化の違いも瞬時に溶かす純粋なココロ。国際交流に大切なのは何か、大人が教えられたイベントでした。

生きがいデイサービス

神戸YMCA三宮会館閉館にともない、7月28日(月)に三宮での活動は終了いたしました。今後はあらたにファミリーウエルネスセンターのある中央区脇浜にて運動リハビリ特化型デイサービスをおこないます。

